

令和6年度学校評価アンケート(教員用)

北海道室蘭栄高等学校定時制課程

【 評価区分 A(4):十分できている B(3):概ねできている C(2):やや不十分である D(1):不十分である 】

大項目	中項目	小項目(評価項目)		平均
学校経営	教育目標	1	学習研究に努め、将来郷土の文化発展に資する識見を養い、国家及び世界の平和と幸福のために貢献する知性を磨く。	2.7
		2	徳性の涵養・品性の陶冶に努め、もって質実にして明朗な気風を培う。	3.0
		3	風土と環境に適応する心身の鍛錬と、保健衛生の観念の徹底を図る。	3.0
	育成を目指す 資質・能力	4	関心に基づいた主体的に活動する能力を育成する。	3.0
		5	調査や経験の機会を通じた情報収集能力を育成する。	3.0
		6	作品制作や発表・レポート作成などを通じた表現力を育成する。	2.7
		7	異なる意見や他者の考えを受け入れ、尊重し理解しようとする態度を育成する。	2.7
	重点目標	8	学習指導の充実に努め、自ら学ぶ意欲と態度を養う。	2.9
		9	基本的な生活習慣と自主性・協調性の育成に努め、道徳的実践力を養う。	3.0
		10	個性・能力を伸長させる指導の充実に努め、社会的自立への挑戦を支援する。	3.0
		11	健康・安全教育の充実・強化に努め、心身の健康について自己管理能力を高める。	2.9
		12	ワークライフバランスを踏まえた教育活動を推進し、明るく事故のない職場環境を構築する。	2.9
組織運営	校務分掌・ 各種委員会	13	学校組織の活性化を図り、効果的な組織運営が行われている。	2.6
		14	校務分掌の役割や職務内容が明確にされ、有機的な運営が行われている。	2.9
		15	各種委員会の役割や職務内容が明確にされ、有機的な運営が行われている。	2.7
校内研修	16	校内研修が計画的・積極的に推進されている。	3.0	
教育活動	教育課程 の編成	17	学習指導要領の趣旨を踏まえた教育課程の編成が行われている。	3.4
		18	教育課程は本校の実態に即した形で編成されている。	3.4
	特色ある 学校作り	19	「総合的な探求の時間」が効果的に計画され、ねらいに沿って組織的に取り組まれている。	2.7
	危機管理	20	危機管理マニュアルが共通理解され、事件や事故に対する態勢が整えられている。	3.0
		教務	21	学ぶ上での基本的なマナー(規律)を根気よく指導し、その向上に努める。
	22		遅刻・欠席の防止指導を行い、出席不良者による中途退学の防止に努める。	3.3
	23		個々の生徒の情報交換を積極的に行い、個性や生活環境などの生徒理解に努める。	3.1
	24		情報機器の活用、体験的学習等を積極的に行い、「総合的な学習」の充実と授業の工夫改善と事前準備に努める。	3.0
	25		分掌・担任・教科の連携を密にして教職員の意思の疎通を深め、一致した指導に努める。	3.0
	26		生徒の悩みや抱える問題について計画的な教育相談が行われ、組織的な支援が図られている。	2.9
	27		個々の生徒の学力や学習意欲を把握し、自ら学ぶ意欲を育てる指導の工夫に努める。	3.4
	28		シラバスを用いて学習目的や指導方法・評価方法が事前に生徒に説明され、効果的に活用されている。	2.7
	生徒指導	29	遅刻・早退・無断欠席を無くし、けじめのある生活態度を育成する。	3.0
		30	教師個々が、定期的に個人面談を実施し、より深い生徒理解と指導に努める。	3.4
		31	生徒の問題行動に対して共通理解のもと、効果的な生徒指導が行われている。	3.1
		32	行事を通して、思いやり・協調性・自主性・責任感・創造性を育成する。	3.3
		33	交通ルールを守り、自他の安全に努め、生命の尊さについて認識させる。	3.3
		34	各種諸届け書類の提出の徹底を図る。	3.0
		35	行事の企画運営を通じて、執行委員・代議委員のリーダーシップの向上に努める。	3.1
		36	早期に行事計画を立て、多くの意見が反映されるように努める。	2.7
37		部活動の自主的活動と、その活発化に努める。	3.3	
38		保健だより・健康診断等とおして健康・安全(性・飲酒・喫煙・薬物の害)について啓発に努め、自己の健康管理をする態度を身につける。	3.3	
39		日常生活や清掃活動をとおして、清掃・整理整頓を習慣化し、清潔で安全な環境作りを目指す。	3.3	
40		生徒の健康相談や応急処置の実施とその記録を分析する。	3.3	
41		心身に不安のある生徒について、職員間での理解、生徒への配慮を目指す。	3.3	
42		学校給食をとおして、食生活の見直しと、手洗い等の習慣化など衛生面への配慮を目指す。	3.4	
43		生徒の給食室利用時のマナー指導に努める。	3.6	
44		給食調理員との連携をとりながら、円滑な給食指導を図る。	3.4	
進路指導		45	インターンシップの実施に努め、将来を考える指針とする。	3.3
		46	LHRや総合の時間を活用し、4年間を見通した進路指導を計画し、実践する。	2.7
	47	Fの時間を通じて、4年生へのキャリア教育を行う。	2.9	
	48	個人面談を通し、個に応じた進路実現への取り組みが行われている。	3.3	
	49	面接指導や作文指導等が効果的に実施され、進路実現への取組が行われている。	3.4	
	50	進路説明会・ガイダンス等の計画的な実施により4年間を見通した進路指導が行われている。	2.9	
特別指導	51	学校祭や球技大会等学校行事を通して、生徒一人一人の自主性が図られようような取り組みが行われている。	3.4	
教育環境	施設設備	52	校舎内外の施設・設備の点検が実施され、安全かつ快適な学習環境作りが行われている。	3.1
		53	コピー機や印刷機など教育機材が十分整えられている。	2.4
開かれた 学校作り	保護者や 地域との 連携	54	地域に信頼される学校を目指した教育活動に努めている。	3.3
		55	各種の通信やHPを活用し、情報の発信に努めている。	3.0
平均				3.06